



【アジサイは和花、それとも洋花？】

日本で古くから栽培されてきた和花に対して、明治以降にヨーロッパ、アメリカから入ってきた花が洋花です。ところが最近、その境目がはっきりしなくなってきました。

梅雨の季節の代表花のアジサイもそうです。アジサイは日本固有の園芸植物です。来日した外国人がアジサイをヨーロッパに持ち帰り、そこで品種改良されてから日本に入ってきたのが西洋アジサイです。この洋花は鉢物として流通し、母の日の人気ギフト商品になっています。写真の西洋アジサイ ‘カーリースパークル’ には、ブルー（青）、パープル（紫）、ピンクの3つの花色があります。これらは別々の品種ではなく、「アジサイは栽培用土を変えることで、酸性→青、中性→紫、アルカリ性→赤の花色に変わる性質」を利用したものです。だから、庭に植えると翌年咲く花色が変わるかもしれません。



‘カーリースパークル’（ブルー）



アナベル

さらに近年では、北アメリカ原産のアメリカアジサイ（アナベル）やカシワバアジサイが出回るようになりました。ところで、なぜ日本から遠く離れた地に「アジサイの仲間」が分布しているのでしょうか？ 地球が寒冷化しはじめると、北極辺りの植物は生きていくためにゆっくりと南に移動します。ところが、アルプスやエベレストといった高い山があると酷寒のためそれを乗り越えられません。そのため、東アジアと北アメリカ東部との2方向に分かれて南下し、「同じ仲間の植物」が離れ離れになって進化したのです。北アメリカ東部の郊外に出かけると、山野に、雨に濡れると透明花になるサンカヨウをはじめ、カタクリ、エンレイソウ、ショウジョウバカマ、ミズバショウなど「日本で見慣れた可憐な野草の仲間たち」が咲くそうです。

古くから日本人に親しまれたアジサイに、ヨーロッパで改良された西洋アジサイ、そして「北アメリカ原産のアジサイの仲間」が加わり、今や「アジサイの世界」は和洋ボーダーレスの時代となりました。

（文・写真 植村修二相談員）

6月の花とみどりの講習会

【アジサイを育てよう】

日時：6月11日(土)10:00~12:00

内容：あじさいの育て方についてのお話

場所：花とみどりの相談所

講師：同所相談員

定員：24人 費用：300円

申込：6月4日(土)9時15分~ 電話可 先着順



花とみどりの相談所にある
'ガクアジサイ'



【ハーブの育て方】

日時：6月18日(土)10:00~12:00

内容：ハーブの育て方についてのお話と

寄せ植えを作ります

場所：花とみどりの相談所

講師：元同所相談員

定員：24人 費用：500円

申込：6月11日(土)9時15分~ 電話可 先着順



寄せ植えに使用する
ハーブです(予定)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止する場合があります。

花とみどりの相談



【相談時間】

火曜日・木曜日の13時から16時30分までです。

電話による相談も行なっています。

《6月の休所日》 毎週の日曜・月曜日です。

豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曾根南町1丁目4番1号(豊島公園内) 阪急宝塚線 曾根駅南 徒歩5分

TEL 06-6863-8439

FAX 06-6863-3638